

タイトル『アルジャーノールに花束を』

著者：ダニエル・キイス

出版社：早川書房

32歳になってもなかなかの知能しかないチャーリー・ゴードン。そんな彼に夢のような話が舞い込んできた。大学の教授が頭を良くすることにより彼は白ネズミのアルジャーノールを相手に検査を受ける。やがて手術により彼の知能は向上していき、しかしその知能も次第に退化していき、そんな彼の経過報告を集めている。その文章表記にも成長が見られるのでぜひ読んでみてください。

一番共感できたのは手術を受けた後のチャーリーが周りの様子を理解できるようになったことにより友達ができなくなりました場面が小学校高学年頃の僕に似ていたのが共感できた。



投稿日 2024年 10月 23日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

キーコ

年齢

13

仙台市 市民図書館 YAコーナー